

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年6月19日（水）

2 確認箇所

- (1) 地下水バイパス一時貯留タンクエリア（図1）
- (2) サブドレン他水処理施設一時貯水タンクエリア 他（図1）

3 確認項目

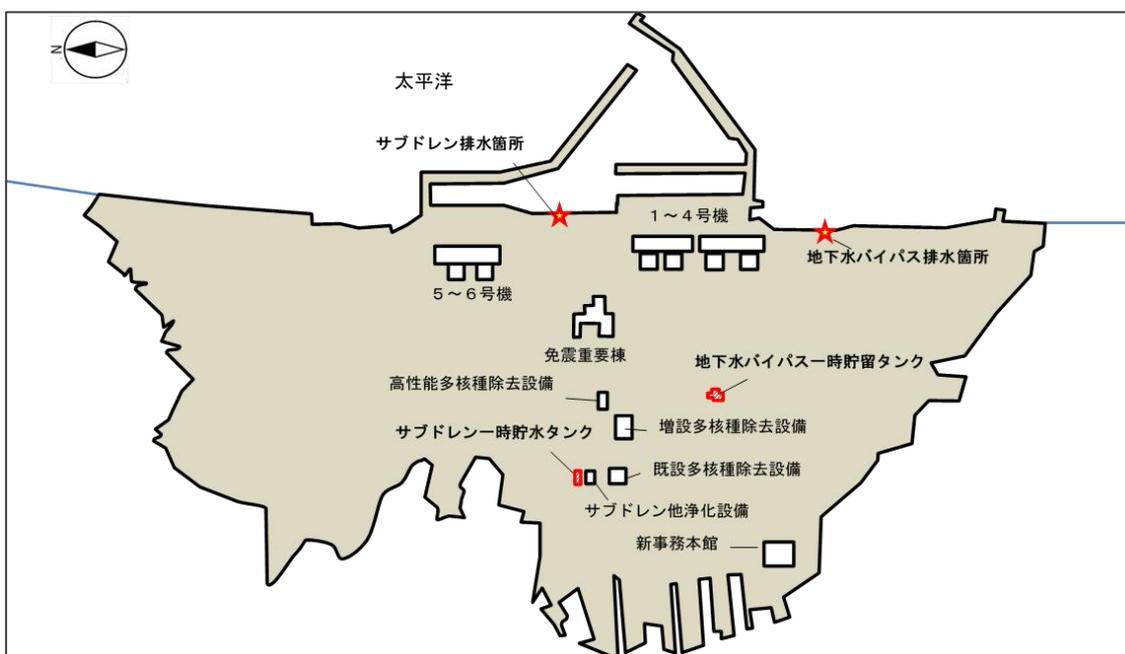
- (1) 地下水バイパスの排水状況
- (2) サブドレン処理水の排水状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、原子炉建屋等に流入する地下水量を低減するため、地下水バイパスやサブドレン他水処理設備などの施設を設置し、運用目標に適合した水質の地下水を定期的に海洋へ排水している。

今回、地下水バイパス一時貯留タンク及びサブドレン他水処理施設一時貯水タンクからの排水が予定されていることから、状況を確認した。

（前回確認：[令和5年12月12日](#)）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図

(1) 地下水バイパスの排水状況

地下水バイパス一時貯留タンクは全9基からなり、3基毎にグループ1から3までに分けられている。今回はグループ1から排水が行われた。

(写真1)

- ・排水を行わないグループ2及び3の排水弁が「全閉」となっていた。

(写真2)

- ・排水を行うグループ1の排水弁が「全開」となっていた。(写真3)
- ・免震重要棟集中監視室からの遠隔操作により放水ポンプが起動し、東京電力社員がポンプ起動後の状況、ポンプや周囲の配管に異常が無いことを確認していた。(写真4)
- ・排水開始後、目視の範囲で異常は確認されなかった。
- ・東京電力社員によれば、排水箇所において排水状況の確認をしたところ、特に異常は確認されなかったとのことであった。



(写真1)

地下水バイパス一時貯留タンク
エリアの外観 (東側から撮影)



(写真2-1)

排水しないグループ2排水弁の「全
閉」状況



(写真2-2)

排水しないグループ3排水弁の「全
閉」状況



(写真3)
グループ1排水弁の「全開」状況



(写真4)
放水ポンプ起動後の確認状況

(2) サブドレン処理水の排水状況

サブドレン他水処理施設一時貯水タンクは全11基からなり、今回はこのうち1基(タンク(C))から排水が行われた。

- ・排水にあたって、東京電力社員が、排水予定のサブドレン他水処理施設一時貯水タンク(C)以外の出口弁の「全閉」を確認していた。(写真5)
- ・その後、サブドレン他水処理施設一時貯水タンク(C)の出口弁の「開」操作が実施された。なお、地下水バイパス一時貯留タンクの排水と同様に東京電力社員が手順に沿って作業を行うとともに、スマートフォンを用いた免震重要棟集中監視室の当直員とのクロスチェックが実施されていた。(写真6)
- ・免震重要棟集中監視室からの遠隔操作により移送ポンプ(B)が起動し、東京電力社員がポンプ起動後の状況、ポンプや周囲の配管に異常がないことを確認していた。(写真7)
- ・排水開始後、目視の範囲で異常は確認されなかった。
- ・物揚場北側のサブドレン処理水排水口の確認を行ったが、異常は確認されなかった。(写真8)



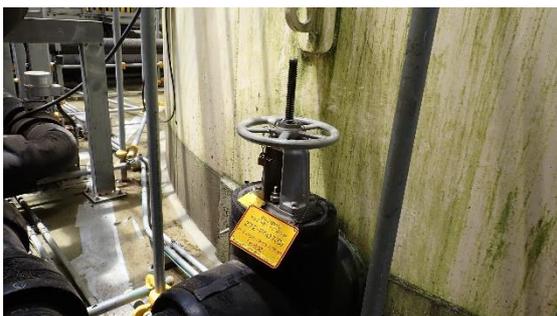
(写真5)
タンク (C) 以外の出口弁「閉」の
確認状況



(写真6-1)
タンク (C) の出口弁「開」の操作
状況



(写真6-2)
スマートフォンを用いたクロスチェ
ックの実施状況



(写真6-3)
タンク (C) の出口弁「開」状況



(写真7)
浄化水移送ポンプ（B）起動後の確認状況



(写真8)
サブドレン処理水排水口の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。